

お寺の春の行事に参加してみませんか

梅花流詠讃歌 毎週土曜日 午後1時半-3時半

ふるくから日本人が親しんできた御詠歌。どこか懐かしい曲調を心をこめてお唱えします。初めての方には法具をお貸しいたします。

婦人会 毎週火曜日 午前9時半-11時半

女性限定。毎週お寺に集まっておしゃべりしながら裁縫したり、料理を習ったりしています。

写経会 毎月第2日曜日 午後3時-4時

丁寧に文字を書く。ただそれだけなのに不思議と心が落ち着きます。少人数ですのでお気軽にお越しください。

坐禅会 毎月第3日曜日 午後4時-5時

最近よく耳にする「めい想」とか「マインドフルネス」とかいうものの原点です。静寂の中で、自分に向き合います。

ヨガ 日程は別紙にてお伝えいたします

お寺で難しくない体操をしませんか。ルーシーダットンというタイの体操です。

ピラティス 日程は別紙にてお伝えいたします

体のコア(体幹)を鍛える運動です。最近、運動不足気味な方、どうですか？

寺こや自然塾申込日 5月29日(金) 午後7時

毎年恒例となりました小学生対象の坐禅会です。詳細は別紙をご覧ください！

今年の自然塾は7月8~9日(土日)開催

※ 行事の詳細はホームページもご覧ください。

あなたとお寺をむすぶ架け橋、お寺の元気をお届けします

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple

68号

もつぱら非難されるのみ
もつぱら称賛されるのみ
そのような人は過去になし
未来にもなし、今もまたなし

(法句二二八)

仁ありて人に謗ぜられれば愁ひとすべからず、
仁無ふして人に讃ぜられれば是れを愁ふべし
と。僧は最も此の心あるべし。(随聞記)

他人を自分のことのように思う慈しみの心があって、他人から非難されることは悲しいことではない。他人を慈しむ心がなくて他人から称賛されること。これを悲しむべきである。仏教徒もまたこのような心をもつべきです、と道元禅師もまたお示しです。

お釈迦様は言います。

「昔からどのように何を語ろうと、他人から非難されるものなのです。なぜなら、非難ばかりされる人もいないし、逆に、称賛しかされない人もいないからです。王様や大地、月、太陽、さらにはブツダにさえ非難するものもいいます。称賛するものもいいます。愚かな者たちの非難や称賛には限りがありません」と。
そのようだと知ることができたならば、他人を許し自分の怒りを静めることができるといえる。私には他人にどう見られているのか。私たちはついつい、自分が一番正しくて、他人からよく見られたいと思うから、他人の言うことに一喜一憂してしまします。誰が何と言おうとも、ただ清らかにまっすぐに生きていきたいと、そう願います。

感謝の思ふこころ

先代が亡くなって二十年以上の月日が流れました。ちょうど本堂の改築工事が始まるうとしていた平成七年秋のこと。当時の境内には、改築のために買い付けた木材が並べられ、先代は毎朝杖をつきながらそれを眺め散歩しておりました。誰よりも新しい本堂を待ち望んでいたのでしょうか。結局は、新本堂を見ることなく遷化されました。葬儀は、先代が住職就任して改築した本堂で執り行われ、その後、本堂は静かに解体されました。五代目住職、鈴木松彦老師の思いと願いを受け継ぎ、一九六二年より四十年の長きにわたり、お寺を護ってこられた高橋精之老師。本堂建て替えの時期にあつて簡単に済ませてきた先住忌法要ですが、この度は、曹洞宗で最も丁寧なる儀礼によって執り行うことができました。また、この度の法要が無事修行しましたのは、広徳寺檀信徒皆様のご理解・ご協力あつたからこそ。そうした檀信徒の思いと歴史のご住職たちの求道の汗とが今に至るまでお寺を支えてきたのだと、改めて感じるところでありました。今日よりまた、より一層の精進をして、先代の思いに恥じぬよう伽藍の護持に努めてまいります。



▼札幌市薬王寺住職 田中清元老師より心のこもった法話を頂きました。



▼本寺高龍寺住職 永井正人老師に先住忌の導師をお勤め頂きました。



▼終わって、正人老師より親しみ深いお言葉が。



▼総勢六十名の僧侶による法要を執り行いました。



▼(右) いつものお寺参りよりも多くのお参りを頂きました。▼(上) 法要終了にご先祖供養を行いました。▼(左) 先住忌用の大きな塔婆！



▼梅花講が御詠歌をお唱えして大導師を迎えます。

▼当日は沢山の方のお手伝いを頂きました！

三月十六日 先住忌を終えて

大本山にて焼香師を勤める

例年より開花の早かった鶴見の桜でしたが、焼香師拝登をもてなしてくるかのうちに、大本山總持寺の境内は春らしい華やぎをみせていました。總持寺は永平寺と並ぶ曹洞宗の大本山。住職は、この度大本山の朝の諷經にて、禪師様に代わり導師をお勤めするお役目を頂いたのです。このようなことは住職として一生に一度、あるかないかのこと。たくさんのお檀家様にもご参加頂き、焼香師当日は全国各地から駆けつけて頂いた御寺院様、御寺族様を含めると45名程の方とともにお勤めすることができました。ありがたいうことです。終わって、近くの箱根に泊り翌日は歌舞伎鑑賞。楽しいひと時を過ごすことができました。四日間、同じ時間を過ごすとは自然とお互い親しみが湧いてくるものですね。初めは知らない人同士も終わる頃にはなんだかちよつと家族のようで。ご縁を感じました。広徳寺単体での団参旅行はしばらく予定はありませんが、教区のもので二年に一度ございます。来年は永平寺。どうぞお楽しみに。

四月十二日 總持寺焼香師拝登



▼總持寺千畳敷の法堂にて導師をお勤めしました。



▼總持寺の禪師様に拝問いたしました。



▼(右上) 總持寺では精進料理のおもてなしが。▼(上) 満開の總持寺境内の桜。▼(右) 歌舞伎鑑賞終わっての屋形船。最終日には話題の築地も散策しましたよ(笑)。

被災地へさまざまな支援も

六年前に突如として起こった東日本大震災。テレビやラジオ、インターネットから流れる情報に、本当にこの世の出来事かと目を疑い耳を疑ったその衝撃と悲しみを忘れることはできません。お寺である以上、お寺として何かできるだろうと、すぐに義捐金箱を玄関に設け、一週間後の春のお寺参りでは皆様に募金を呼びかけました。チャリティ寄席も行い



ました。結果、六年間で十七万八千四百五十円となった義捐金。皆様の善意はシャランティ国際ボランティア会の「東日本大震災」被災者支援募金として、また、一部は Amazon の「たすけあおう Nippon 被災地を応援ほしい物リスト」から「東北復興支援団体系ぼう」へお米として送らせて頂きました。七回忌を節目に募金活動は終了しますが、思いは今も変わることはありません。この度は、皆様の心あるご協力ありがとうございました。

お寺の庭から

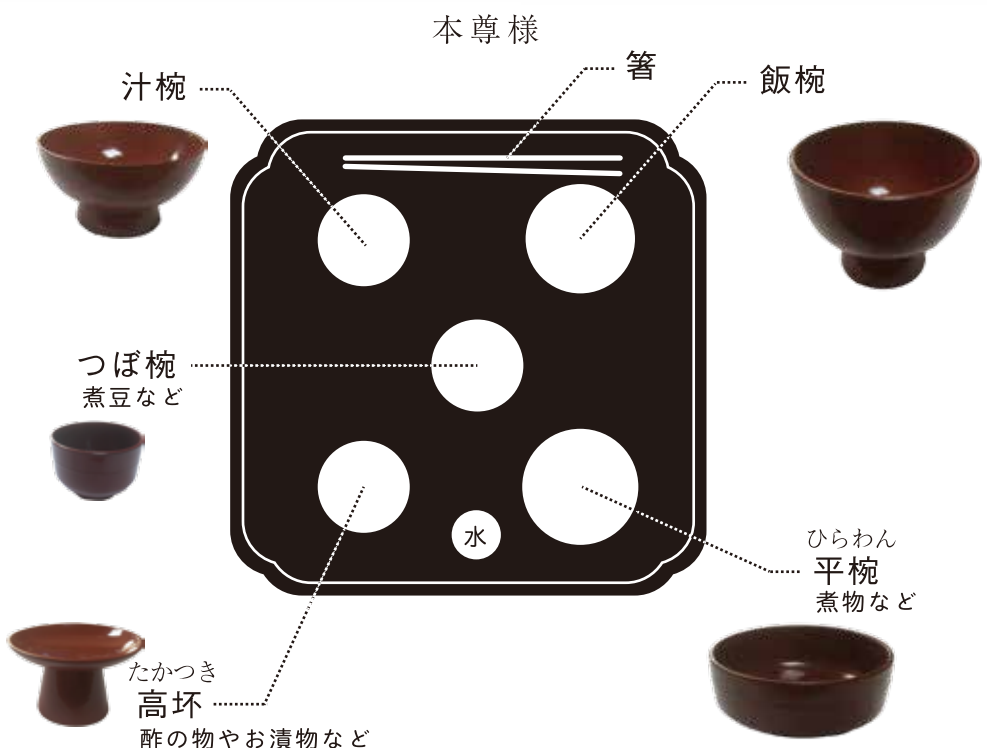
「まごはやさしい」という食事の標語を知ってますか? 「ま豆類」「ごごま」「わかめなど海藻類」「や緑黄色野菜」「さ魚」「しいも、こんにやくなど芋類」これらを満遍なく摂ることで、健康生活を送れるそうです! 近頃、食と健康に関して勉強する機会がありました。すると、今まで何気なく食べていたものが全て自分の身体をつくる栄養に繋がっているんだなあ、という当たり前の事を改めて意識するようになってきました! そして、「腹八分目」とか「満遍なく過不足なく色々な食材をバランス良く」とか、またまた「よく噛んで食べよう」とか耳にタコが出来そうなほどよく聞いてきた(笑)言葉こそが、健康に食事を摂る秘訣だということも分かりました。これからお花見シーズンですが、お酒はほどほどに(笑)、食事療法で花粉症も治るといいなあ、と淡い期待を抱きつつ、楽しく有難く食事を頂こうと思えます(佑実)

広徳寺絵葉書ができました

この度、先住忌にちなみ広徳寺オリジナルの絵葉書を作りました。普段なにげなく眺めている本堂や仏像も、写真になるとまた新しい表情が見えてきます。小さな額に入れて壁にかけてもおしゃれです。1セット500円(7枚入)で販売しております!

仏事 Q&A

お霊供膳の並べ方を教えてください。



お霊供膳は作り慣れていても、どこにどの器を置くのか、器に何を入れれば良いのか迷いますよね。まず、ご飯とお汁ですが、仏様にとって手に取りやすい位置に置きましょう。仏様が召し上がるので、仏様にとって左手にごはん、右手にお汁です。ごはんとお汁の器は形が似ているからわかりやすいですよ。たまにお見かけするのが、お汁をつぼ椀に入れてあるもの。つぼ椀には煮豆を入れます。さらに、平椀には煮物。形が大きく平べったいからわかりやすいですね。残った高坏(たかつき)には、酢の物やお漬物を入れましょう。私たちの食事と同じものをに入れて、一緒にいただくような気持ちでお供えしましょう。ただし、肉魚貝、卵はお供えしません。また、匂いの強いネギやタマネギ、ニンニク、ニラ、ラッキョウも控えましょう。入れると美味しいんですけどね。